

認知症施策の総合的な推進（イメージ図）

【目指す姿】誰もがなる可能性がある認知症。認知症になっても前を向いて、出会い、つながることができるまちしゅうなんを目指そう。

1

普及啓発・ 本人発信支援

- 認知症サポーター養成講座の開催
- アルツハイマー月間（9月）を中心とした啓発活動
- 早期発見のためのチェックリストの配布
- 認知症本人からの発信機会の拡大

2

認知症予防に資する 可能性のある活動の 推進（予防）

- 脳の健康度測定（あたまの健康相談）
- フレイル予防対策（食事・口腔機能、身体活動、社会参加、疾病管理）
- 予防活動の推進（しゅうなん出前トーク）
- 居場所づくりの支援（通いの場、サロン等）

本人の視点を各施策に反映



認知症本人及び家族

3

医療・ケア・ 介護サービス・ 介護者の支援

- 周南市認知症あんしんガイド（ケアパス）の活用
- 男性介護者の集い、認知症家族会の活動支援
- 認知症の人と家族に対する相談を含めた支援体制の整備
- 認知症初期集中支援チーム（早期診断・早期対応）
- 認知症地域支援推進員
- 認知症疾患医療センター（泉原病院）
- オレンジドクター（相談医）
- PREMIUM オレンジドクター（専門医）
- 認知症介護相談事業
- 医療介護連携の強化（あ・うんネット周南）

4

認知症になっても 暮らしやすい 地域づくりの推進

- 認知症カフェの活動支援
- 認知症にやさしい図書館の取組みの推進
- もやいネット支援事業者（69事業者）
- もやいネット地区ステーション（31地区）
- もやい徘徊 SOS ネットワーク
- しゅうなんメール、事前登録制度
- 成年後見制度の利用促進
- 認知症サポーターと支援ニーズをつなぐ仕組み（チームオレンジ）の構築
- 本人の社会参加や社会貢献の活動促進
- 若年性認知症に関する支援